

船舶事故等調査報告書

平成21年12月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第253号	
事故等種類	運航不能（燃料油供給停止）	
発生日時	平成21年8月14日（金） 13時00分ごろ	
発生場所	京都府舞鶴市の三本松鼻灯台から北西約1.8km付近 （概位 北緯35°31.1′ 東経135°19.9′）	
事故等調査の経過	平成21年8月27日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	ゴムボート オキエラブ丸、長さ2.66m	
船舶番号、船舶所有者等	250-54300大阪、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	本船（船外機付きゴムボート）は、舞鶴港内で釣り場を探索中、平成21年8月14日13時00分ごろ、突然、船外機が自停して運航不能となり、救助を要請したのち、付近航行中の船舶にえい航され帰港した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好 海象：平穏	
その他の事項	船外機ゴムホース製燃料油供給管の上に、ダイビング用ウエットスーツに着用するウエイト（鉛）が置かれ、更に、船長がウエイト上に着座したため、同管が閉塞して燃料油の供給が途絶えたことが判明した。	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	あり
	気象・海象の関与	なし
	判明した事項の解析	燃料油供給管が閉塞して燃料油の供給が途絶え、船外機が突然自停したものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が舞鶴港内で釣り場を探索中、ゴムホース製の燃料油供給管の上にダイビング用ウエイトが置かれ、その上に船長が着座したため、同管が閉塞して燃料油の供給が途絶え、船外機が停止したことにより発生したものと考えられる。	